

2016年6月1日

報道関係各位

ソーラーフロンティア株式会社

ソーラーフロンティア、 最先端の技術が結集した東北工場で商業生産を開始



東北工場の外観



東北工場における
第1号ソーラーパネル

【東京—2016年6月1日】 - ソーラーフロンティア株式会社（代表取締役社長：平野敦彦、本社：東京都港区台場 2-3-2、以下：ソーラーフロンティア）は、宮城県において年産能力 150MW の東北工場の商業生産を開始しましたのでお知らせします。同工場は 2013 年 12 月に投資決定し、2015 年 4 月より稼働を開始した後、最新鋭の技術を確認するために入念な立ち上げ作業を行ってきました。今般、主力の国富工場品と比べて同等以上の製品を生産する体制が整ったことから、商業生産を開始しました。

東北工場の投資額は MW 当たりで国富工場の 2/3 程度に抑える一方で、より一層進化した CIS 薄膜太陽電池の量産技術が導入されています。この新工場のコンパクトな新量産ラインでは、MW あたりの生産に要する人員が 2/3 程度に削減されることに加え、生産時間も 1/3 程度に短縮されます。当社は、これらの技術力により実現する世界トップクラスの生産コストをもって、海外生産体制の構築へ向けて前進します。

東北工場で生産するソーラーパネルは、今夏より宮城県内のお客様に限定して受注を開始し、その後エリアを順次拡大していく予定です。パネルの出力向上に継続的に取り組み、フル生産時の出力で 180W 以上を目指します。

東北工場のソーラーパネルは、出力向上に加え、お客様やパートナー企業様に優れた経済性をお届けします。従来から CIS 薄膜太陽電池には、セル配置がシリコン系と異なるため影の影響を受けにくいという特徴がありますが、東北工場ではセンターリードを採用したことにより、パネルの一部に影がかかった場合の出力低下が現行製品と比較して更に少なくなります。また現行品と比べて軽量かつ汚れにくいほか、電圧や端子ボックスなどの仕様見直しによって、システム設計の自由度や施工性の更なる向上を織り込んでいます。

東北工場における商業生産の開始は、ソーラーフロンティアの技術革新と宮城県・大衡村との協働の成果です。ソーラーフロンティアは東北工場における最新鋭の技術をもって、より経済性の高い太陽光発電ソリューションを実現し、世界中のお客様に快適でクリーンな暮らしをお届けしてまいります。

※東北工場の特徴については、添付資料も併せてご参照ください。

以上

【ソーラーフロンティア株式会社について】

ソーラーフロンティア株式会社は昭和シェル石油株式会社（5002, T）の 100%子会社であり、CIS 薄膜太陽電池の生産・販売を行っています。世界最大の CIS 薄膜太陽電池工場である国富工場（生産能力 900 メガワット）に加えて、宮崎工場（生産能力 60 メガワット）および東北工場（生産能力 150 メガワット）と合わせて合計 1 ギガワットを超える生産体制を国内に保有しています。ソーラーフロンティア株式会社が生産・販売する CIS 薄膜太陽電池は、銅、インジウム、セレンを使用して、当社の独自技術で生産する次世代太陽電池であり、経済効率が高く、環境に優しいことが特徴です。太陽電池の設置容量（kW）あたりの実発電量（kWh）が従来型のものに比較して高いだけでなく、原料からリサイクル処理まで高い環境意識で設計・生産されており、その長期信頼性や保証体制に関しては国内外の第 3 者機関による認証を受けてきました。デザイン面でも、内閣総理大臣表彰「第 2 回ものづくり日本大賞」で優秀賞（製品・技術開発部門）、公益財団法人日本デザイン振興会が主催する「2007 年グッドデザイン賞」では特別賞エコロジーデザイン賞を受賞しています。詳細につきましては[当社ホームページ](#)をご覧ください。当社公式の[ブログ](#)、[Facebook](#)、[Twitter](#) でも太陽光発電に関する最新情報などを随時発信しています。

報道関係からの問い合わせ先:

ソーラーフロンティア株式会社 コーポレートコミュニケーション部
吉田・八宮 TEL: 03-5531-5792



公称
年産能力
150MW

830,000
枚

ソーラーパネルの
年間生産枚数

33,000*
軒分

一般家庭の
平均年間電力消費量に
おきかえた場合

世界をリードする最先端の技術が結集

ソーラーフロンティア 東北工場

東北産！

住 所:宮城県黒川郡大衡村 第二仙台北部中核工業団地
敷地面積:70,000m²、建屋延床面積:15,000m²
従業員数:約100名
投 資 額:約130億円



世界トップクラスの 生産コストで世界へ

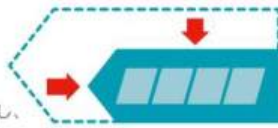
設備投資額 を削減

1MWあたりの設備投資額を3割減



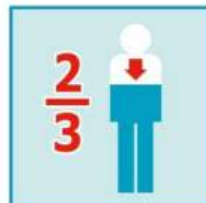
コンパクトな 生産ライン

生産ラインの設計と装置を改善し、
コンパクトな生産ラインを実現



より効率的な 操業

1MWの生産が0.9人→0.6人で
可能に



時間短縮

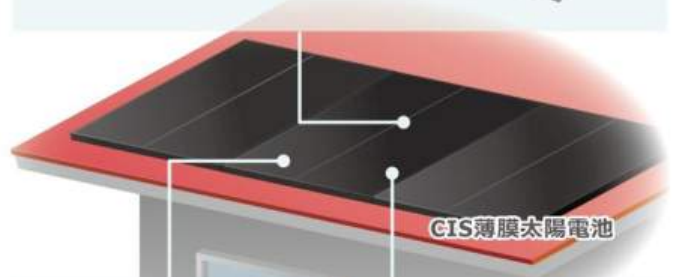
ソーラーパネル1枚を
生産するのにかかる時間を
3分の1(24時間→8時間)に短縮



高品質 & 高効率な ソーラーパネル

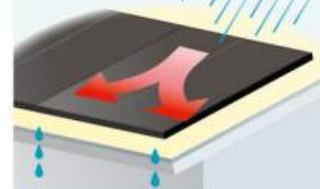
出力とエネルギー 変換効率がアップ

出力180W以上、
エネルギー変換効率で約15%を目指す



水切り性能が アップ

新フレーム構造により
水平位置での水切り性能が向上し、
汚れが付きにくい



施工性がアップ

- ・1.5kg軽量化
- ・端子ボックスをモジュールの端に
(位置変更により、ケーブルが取り
出しやすい)

